

	牧師 山本護	司式 平尾文子	奏楽 山本恵美	※讚美は二番まで歌います
前 奏	黙想		祈 禱	
頌 栄	539 あめつちこぞりて		讚 美 歌	263 よろこばしき こえひびかせ
祈 禱			献 金	
信仰告白	使徒信条 566		讚 詠	547 いまささぐるそなえものを
聖 書	詩編 22:23~26		主の祈り	564
	使徒言行録 16:14~15		讚 詠	546 聖なるかな、せいなるかな
讚 美 歌	55 今日はひかりを		祝 禱	
説 教	『フィリピの女性たち』		後 奏	
	長崎 哲夫 牧師			

エルサレム会議(行 15)は、無割礼の異邦人(同 14:11)が割礼無しには救われぬと主張したファリサイ系信者らの差別(15:9)撤廃と偶像に供えた汚れた肉、淫らな行為、絞め殺した動物の肉と血を避ければ、主イエス・キリストの福音は誰にも公平に行き渡るべきとの決議をした。パウロとバルナバは、アンテオケ教会で前回伝道旅行の苦境にエルサレムへ逃げ帰ったヨハネ・マルコを今回も同道するや否やで二人は大議論後、別々の道をとって旅立った(15:36)。パウロは途上リストラでシラスやルカに加えてテモテを迎えた。テモテは信徒だったが、筆者ルカの誤りでなければ、この割礼はユダヤ教の敬虔の振る舞いとしてだった。

パウロらが「ヨーロッパの門」と言われた北ギリシャのマケドニア州第一都市フィリピに着いたのは偶然のことではない。先の伝道で訪れたデルベ等アジア州に行こうとしていたのを聖霊が、黒海南岸のピテニア州へはイエスの霊が二度も許さなかったとある。それらの経緯を経てある夜、パウロは、「マケドニア州へ渡って、わたしたちを助けて下さい」と懇願する人の夢を見た。人への聖霊の業とは何か。趣向や欲望や見栄を超えてキリストの意志を気付かせ(ヨハ 14:26)、それに近づかせる力のことではないか。夢幻は、それらを明らかにした。結果的にミシア州のトロアスから船出してサモトラケ経由で着いたローマ植民都市フィリピにはユダヤ人会堂は無く、ローマの支配権の強さが伺えた。だから一行の滞在中安息日の集会は門外の川ガンギデスの岸辺の祈りの場にあった。パウロもルカも「わたしたちは集まって婦人たちに話をした」(16:13)とある。其処に小アジアのティアティラ(黙 2:18)出身で紫布の女性商人リディアをはじめエボディア(芽香)やシンティケ(幸い)もいっただろうか(フィリ 4:2)。集まりは専ら「女性の集会」だった。

特に神を崇めるリディアは、「主が彼女の心を開かれ」・「彼女はパウロの話を注意深く聞き」・「彼女も彼女の家族も洗礼を受けた」・「その夜、わたしが主を信じる者とお思いでしたら」・「わたしの家に来て、お泊り下さい」と言った。信仰者として決然と立つ姿が浮かび上がる。その家は、エルサレムのヨハネ・マルコの母マリアの二階屋にも似て(12:12)、紫布ともトルコ赤とも今日も珍重される美しい布を商い、大勢の家人が働き頻りに客が出入りし、時として当局との折衝もあったかも知れぬ。その立場で女性信徒としての働きがどんなに大きな役目を担ったかと想像する。教会の進展にはその世代に向かってキリストの福音に責任をとる者の社会的影響があつてのことである。此処には、リディアの主に対する忠実と情熱、福音信仰と共に卑しからぬ女性の品格が際立つ。彼女の品格とは、その個性と共に神と人を深く愛するしなやかな強さのことだ。

あの朝「祈りの場」への途上、占いの霊に取りつかれた女性の一件で捕らわれたパウロは、「ローマ市民権」があつて釈放され、行き着いたのもリディアの家だった。この家は北ギリシャの最初の教会となつただろう。世界の全教会はかくなる家族の信仰を基盤として形成され、その基礎としての女性達を描くルカの真骨頂を見ている。

(長崎哲夫牧師の説教要約)

本日の礼拝説教は長崎哲夫牧師にお願いしました。長崎牧師には2カ月に一度、奇数月の第四主日をお願いしています。礼拝時には換気しており寒い場合はどうぞ上着を着たままで。膝掛けも用意しています。密になって来たら、前方の席・ロフト席・集会所と、適度に分散してください。

礼拝堂・集会所の住所：408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ：408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HPは「日本基督教団八ヶ岳伝道所」で検索して下さい。